

## 第 62 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 2 年 6 月 2 日 (火) 13 時 00 分～14 時 10 分
2. 場 所 Web 会議 (ZOOM システム) 日本私立薬科大学協会事務局
3. 出 席 者 理 事 伊藤 智夫 中村 明弘  
元木 和幸 井上 圭三  
楠 文代 田中 芳夫  
堅田 利明 越前 宏俊  
灘井 雅行 浜岡 純治  
津田 裕子 宮田 興子  
篠塚 和正 加留部善晴  
監 事 富田 基郎 市川 厚

#### 4. 議事の経過の要領及びその結果

小池事務局長から、本日は新理事による最初の理事会となり、会長（議長）が選出されていないため、井上理事が議長となることについて提案があり、承認された。

次いで、井上理事が議長に就任し、本日の出席理事が 14 名であり、定款に定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。

また、議事録署名人として出席理事から、加留部理事を指名し、事務報告の後、直ちに議案の審議に入った。

##### (1) 前回議事録の確認について

前回議事録（第 61 回理事会：令和 2 年 5 月 12 日開催）について、全会一致でこれを承認した。

##### (2) 役員の変更に伴う理事等の選出について

井上議長から、資料 3 の①のとおり、前回（第 61 回理事会）の審議事項について書面議決により承認されたこと、また、第 1 回通常総会の審議事項についても、6 月 2 日付で承認されたことの報告があった。

合わせて資料 3 の②のとおり、新役員となる理事 16 名、監事 2 名が決定したことが報告された。

## 理 事

北里大学	理事・学長	伊藤 智夫 (法)
昭和大学	薬学部長	中村 明弘 (大)
昭和薬科大学	理事長	元木 和幸 (法)
帝京大学	理事・副学長	井上 圭三 (法)
東京薬科大学	理事長	楠 文代 (法)
東邦大学	副学長・薬学部長	田中 芳夫 (大)
武蔵野大学	薬学部長	堅田 利明 (大)
明治薬科大学	学長	越前 宏俊 (大)
名城大学	理事長	立花 貞司 (法)
名城大学	薬学部長	灘井 雅行 (大)
京都薬科大学	学長	後藤 直正 (大)
大阪薬科 大学	理事長補佐・ 副理事長	浜岡 純治 (法)
神戸学院大学	理事・副学長	津田 裕子 (法)
神戸薬科大学	学長	宮田 興子 (大)
武庫川女子大学	薬学部長	篠塚 和正 (大)
福岡大学	常務理事・副学長	加留部 善晴 (法)

## 監 事

富田 基郎	昭和大学	名誉教授
市川 厚	武庫川女子大学	名誉教授

### (3) 会長及び副会長の選出手続きについて

井上議長から、新理事が選任されたことを受け、資料4に基づき、会長及び副会長を選出する旨の説明があり、実施方法は郵便による投票で行うこととし、はじめに会長の選出を行い、その結果が確定後、副会長を選出することが提案され、全会一致でこれを承認した。

また、この間の選出手続きについては、小池事務局長の下で実施することも了承された。

なお、北里大学 伊藤智夫理事・学長は6月30日付で同大学学長を退任するため、会長・副会長選の該当名簿から除外することとなった。

### (4) 会長指名理事、常務理事、参与、各種委員会委員の取り扱いについて

井上議長から、資料4に基づき会長指名理事、常務理事、参与等は

会長が指名することとなっている旨の説明があり、その選任については新会長に一任することが提案され、これを承認した。

なお、決定後は理事会役員及び総会会員宛に文書で通知することとした。

#### (5) 会長及び副会長の職務執行状況の報告について

井上議長から、定款第21条第5項（会長及び副会長は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。）に基づき、会長及び副会長の職務執行状況を報告することとし、資料5により小池事務局長から内容について説明があり、協議の結果これを了承した。

#### (6) 日本私立薬科大学協会への入会申し込みについて

井上議長から、資料6に基づき本協会へ入会申請があった「国際医療福祉大学福岡薬学部」について説明があり、協議の結果、入会を承認し、第2回通常総会（11月24日開催予定）に諮ることとした。

#### (7) 令和元年度私立薬科大学（薬学部）実務実習実態調査結果について

小池事務局長から、資料7に基づき私立57大学を対象とした令和元年度実務実習実態調査について、集計結果の報告があった。

実習経費の金額別・学生数の中で、令和元年度の実習費が値上がりしているのは、消費税改訂（8%→10%）の影響によるものと説明があった。

### 5. その他

#### (1) 文部科学省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」（令和元年度～3年度）について

井上議長から、本委託事業の検討課題となる、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」（平成25年改訂版）の次期改訂に向けた検討を行う中で、特に他の医療系分野（医・歯等）との共通性・整合性を図る観点から、今後、医療系分野が共通して学ぶべき課題・内容の抽出を行う必要があるとし、関連して、文部科学省から全大学に協力依頼があり、本事業への理解及び、アンケート調査等への協力を願いたい旨の報告があった。

(2) 新型コロナウイルスの対応のPCR検査について

市川監事から、新型コロナウイルス感染拡大が予想される第2波に備え、迅速・簡便・安価・安全な唾液からのPCR検査法を開発し、有用性実証のため、現在、コロナウイルス検体を提供できる機関との共同研究を行っているが、今後は検体の保存・運搬、PCR実施施設の整備などが課題となっているとの説明があり、協会も全面的にサポートすることとし、本協会の昭和大学の中村薬学部長へ協力を要請してはどうかとの発言があり、市川監事に検討いただくこととなった。

(3) 入学状況調査結果の大学公表用フォーマットの統一について

標記情報の公開に当たって、文部科学省から以下の要請があった。各大学の表示方法、内容に差があり受験生等が容易に比較・検討できる環境とは言い難い。

公表用フォーマット（「各年次の進級者数」「入学者数に対する標準修業年限内の卒業者及び国家試験合格者の割合」「6年次の卒業留年の割合」）を統一したので、今後はこれに基づき（配布資料）公表して欲しい。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、14時10分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事（指名された議事録署名人）、監事がこれに署名捺印する。

令和2年6月15日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長 井上圭三  
(押印済)

出席理事 加留部善晴  
(議事録署名人) (押印済)

出席監事 富田基郎  
(押印済)

出席監事 市川厚  
(押印済)